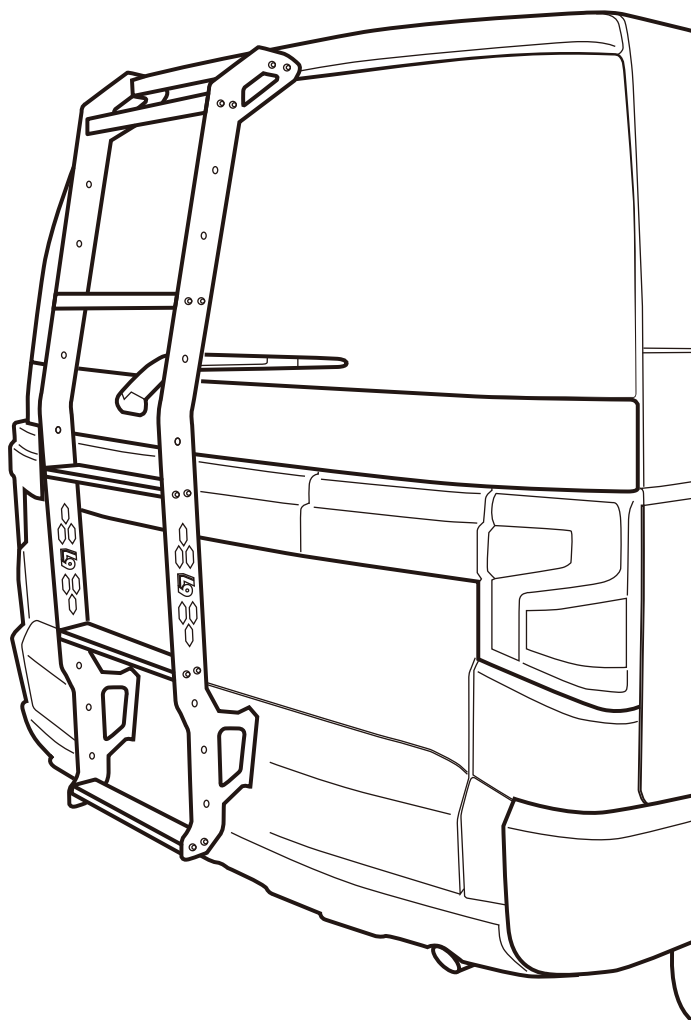




## Rear Ladder for DELICA

RNA-RLD-CV1/JAN:4571551736015

### 取扱説明書

適応年式：デリカD:5 19.02～型

取付参考時間  
約**1.5**時間

本製品が届きましたら速やかに商品の  
状態確認をお願いします。

このたびは、お買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

本説明書に記載の注意事項をよくお読みになり、正しくお使いいただきますようお願いいたします。

お読みになった後も本説明書を大切に保管し、紛失しないようご注意ください。

#### 使用上の注意

- 本製品の仕様耐荷重はリアゲート全閉時に80kgです。
- リアゲート解放時の使用や手前・左右への大きな力など昇降以外の想定されていない使用を絶対に行わないでください。ドアパネルやヒンジ部の破損、それによる使用者の落下・転倒などの大きな事故が起こる場合があります、大変危険です。
- リアゲートの変形による雨漏れの原因になる可能性があるため、注意してご使用ください。

# 取付上のご注意

必ずお守りください



## 注意

- 本商品が届きましたら速やかに商品の状態確認をお願いします。
- 必ず2人以上で作業を行ってください。
- 商品の角や尖った部分で手を切る可能性がありますので、手袋の使用をお勧めします。

### 材 質 ・ 仕 様

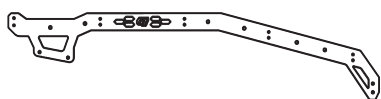
- 材質…アルミ（フレーム、ステップA・B）／スチール（固定用ブラケット、ステップC）
- 仕様…ブラック粉体塗装 ●製品重量…約 4.8kg

※生産の特性上、細かなキズや打痕、塗装ムラなどのある製品がございます。あらかじめご了承ください。

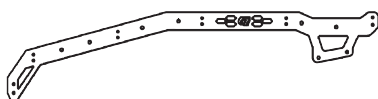
### 必 要 工 具

- ボックスレンチ（HEX12）
- メガネレンチ（HEX12）
- HEX レンチ（5mm）
- トルクレンチ
- 脱脂剤等

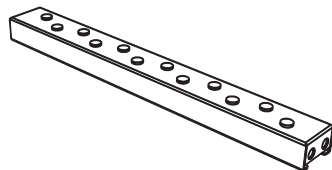
### 部 品 構 成



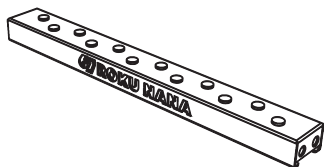
①フレーム（L）×1



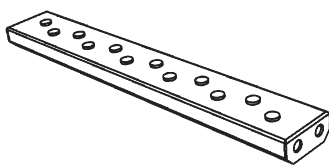
②フレーム（R）×1



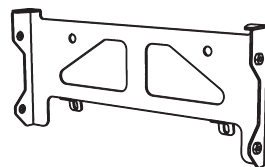
③ステップA×3



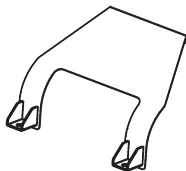
④ステップB（ロゴ入）×1



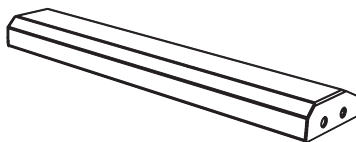
⑤ステップC×1



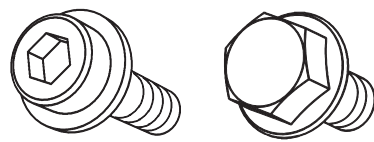
⑥固定用ブラケットA×1



⑦固定用ブラケットB×1

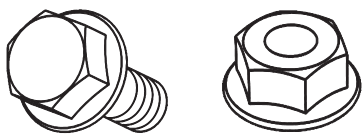


⑧固定用ブラケットC×1



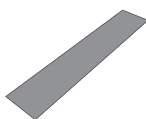
⑨ M6 × 15 フランジキャップボルト× 20

⑩ M8 × 15 フランジボルト× 8



⑪ M8 × 20 フランジボルト× 2

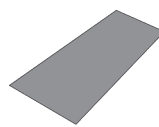
⑫ M8 フランジナット× 6



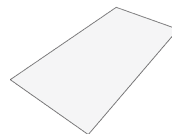
⑬ラバーシートA 140×20(mm)×2



⑭ラバーシートB 95×20(mm)×1



⑮ラバーシートC 100×35(mm)×2



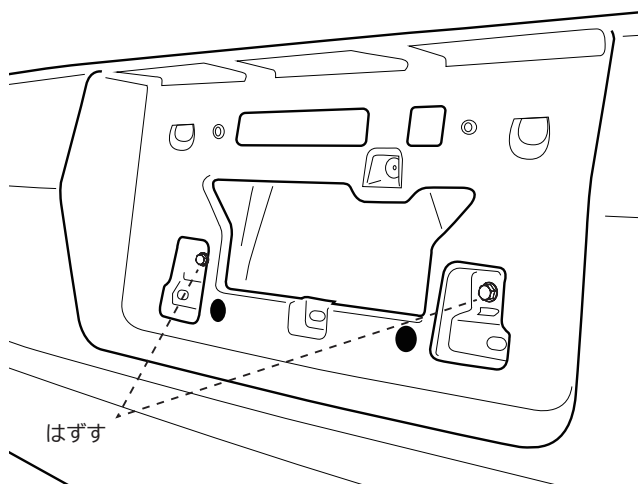
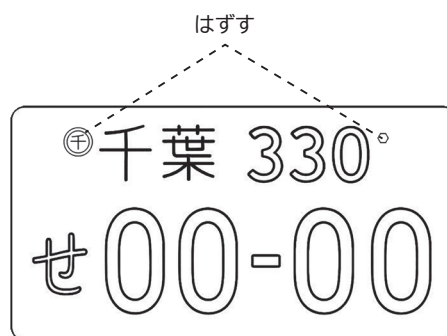
⑯プロテクションシート300×205(mm)×1

# 取付手順

## 1

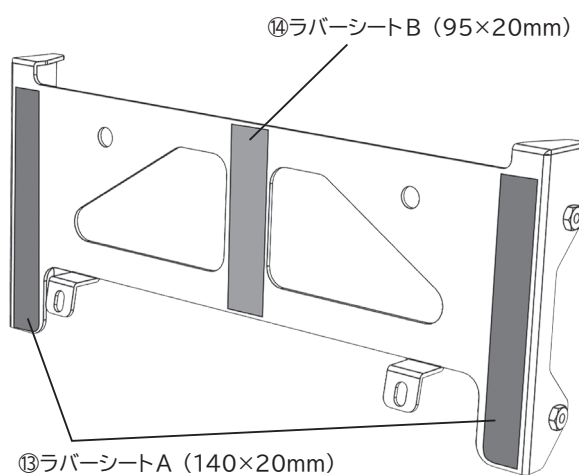
ナンバープレートの封印を取り外し、ナンバープレートとスクリービスを外します。

※ナンバープレートの封印が無い状態で公道走行はできません。



## 2

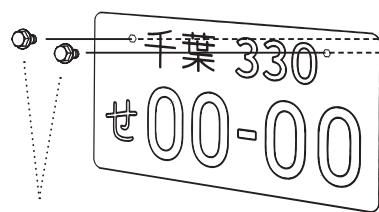
⑥固定用ブラケットAの裏面へ付属品⑬ラバーシートAと⑭ラバーシートBを下記図の位置へそれぞれ貼ります。貼り付ける箇所は脱脂を行ってください。



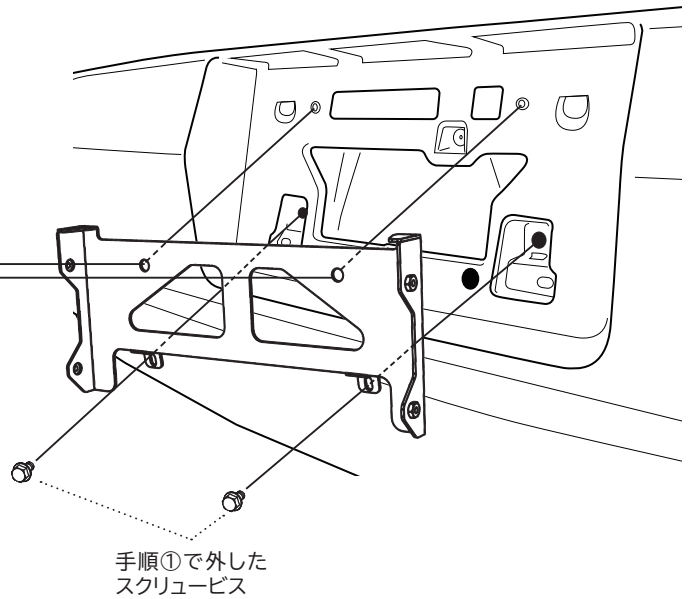
### 3

固定用ブラケットAを車体へ右図の位置に取付します。

※スクリーブスは強く締め込み過ぎないように注意ください。



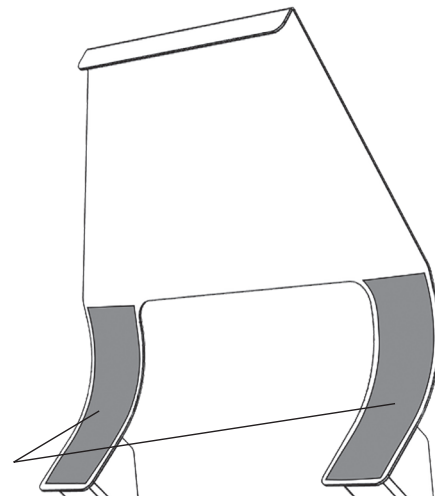
手順①で外した  
ナンバーボルト



手順①で外した  
スクリーブス

### 4

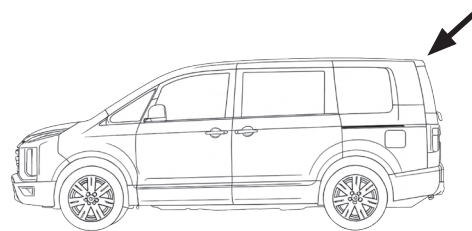
⑦固定用ブラケットBの裏面へ付属の⑮ラバーシートCを下記図の位置へ2か所貼ります。貼る箇所は脱脂を行ってください。



⑮ラバーシートC 100×35 (mm) ×2

### 5

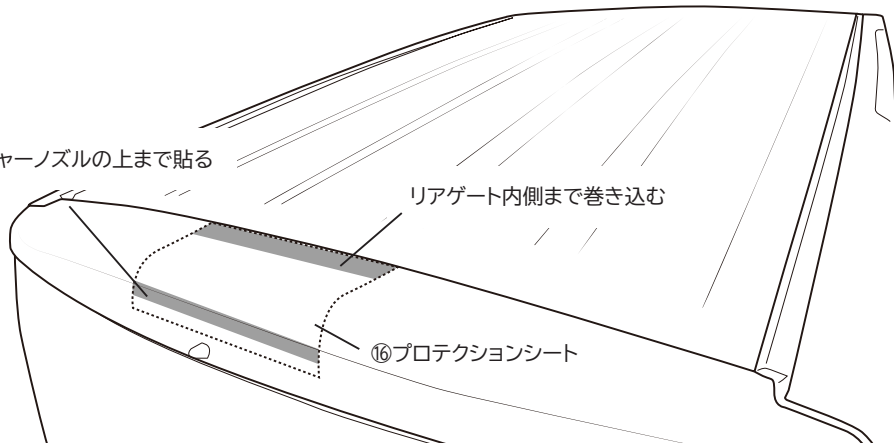
車体のリアゲート開閉部分（ルーフ側）を清掃・脱脂し、付属品⑯プロテクションシートを下記図の位置に貼ります。貼る箇所は脱脂を行ってください。



ウォッシャーノズルの上まで貼る

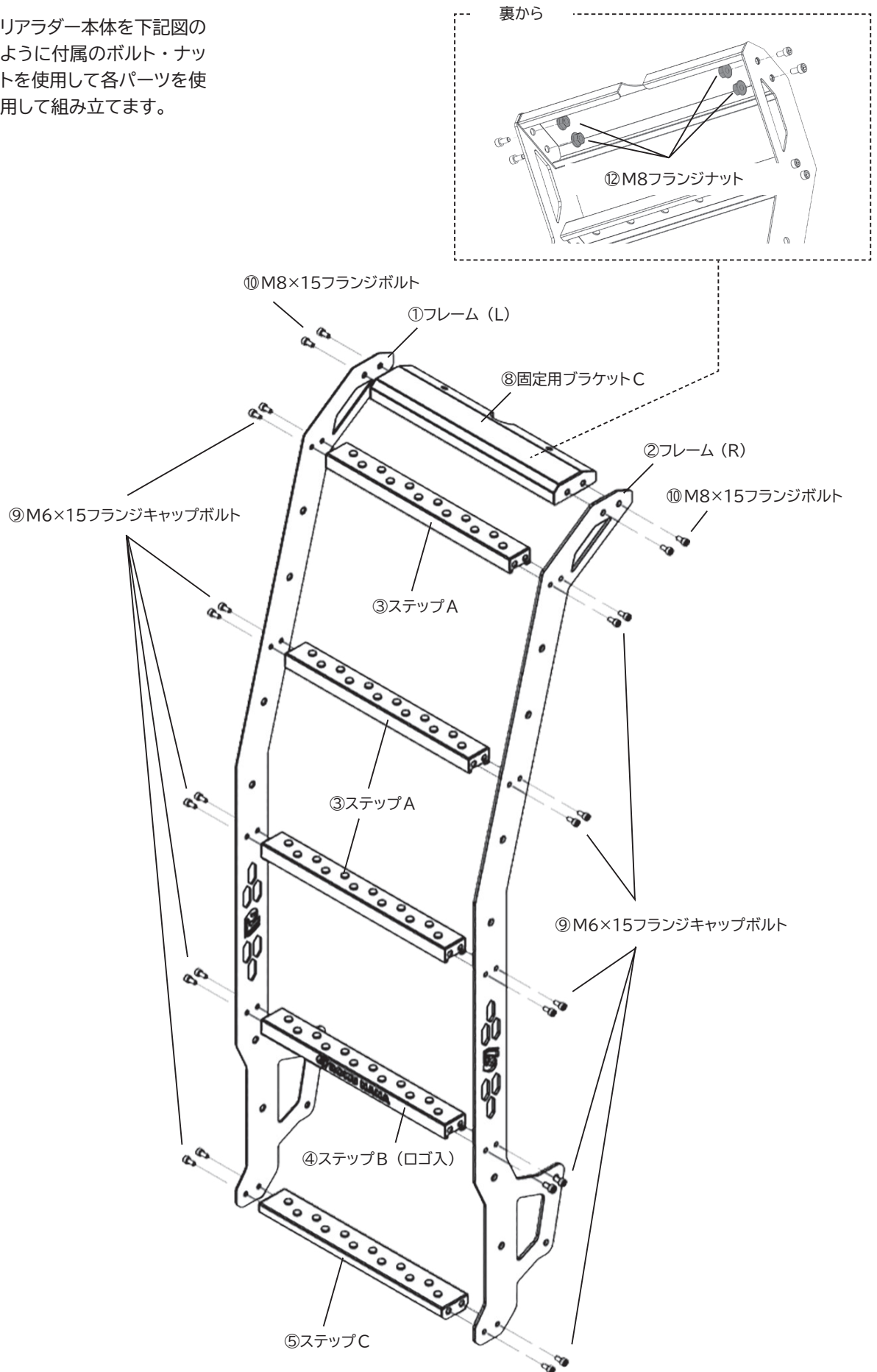
リアゲート内側まで巻き込む

⑯プロテクションシート



# 6

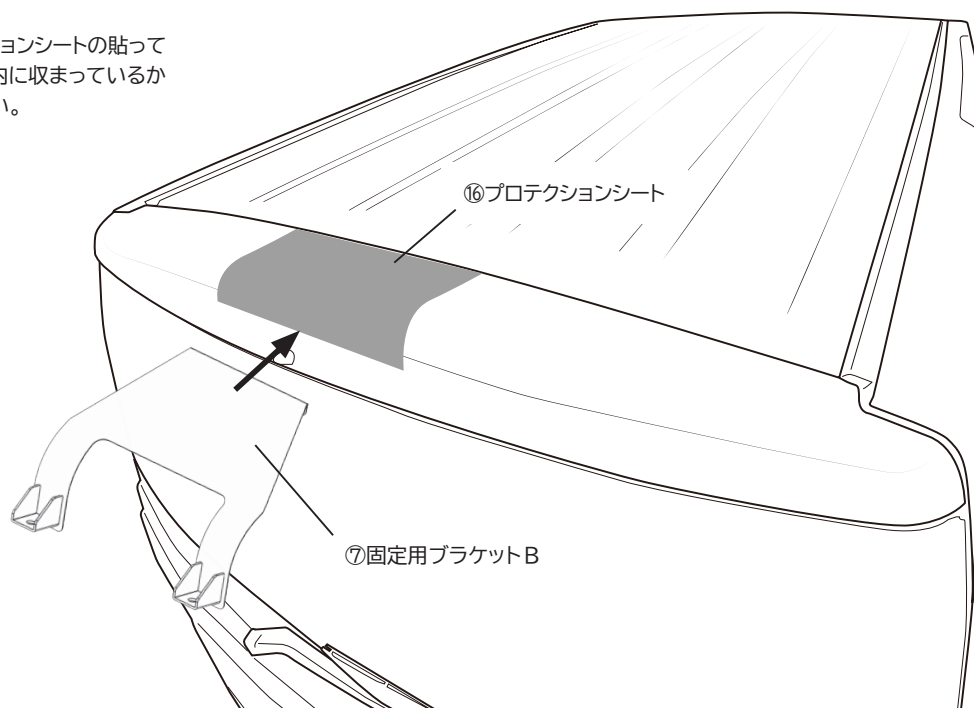
リアラダー本体を下記図のように付属のボルト・ナットを使用して各パーツを使用して組み立てます。



# 7

⑦固定用ブラケットBを車体へ引っ掛けて装着します。

※プロテクションシートの貼ってある範囲内に収まっているか確認下さい。



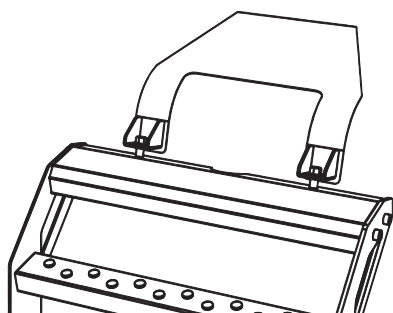
# 8

ラダー本体と車体に仮付けされている⑦固定用ブラケットBを付属の⑪M8×20フランジボルト、⑫M8フランジナットで仮固定します。

⑦固定用ブラケットが上下に動かせる程度に仮締めしてください。

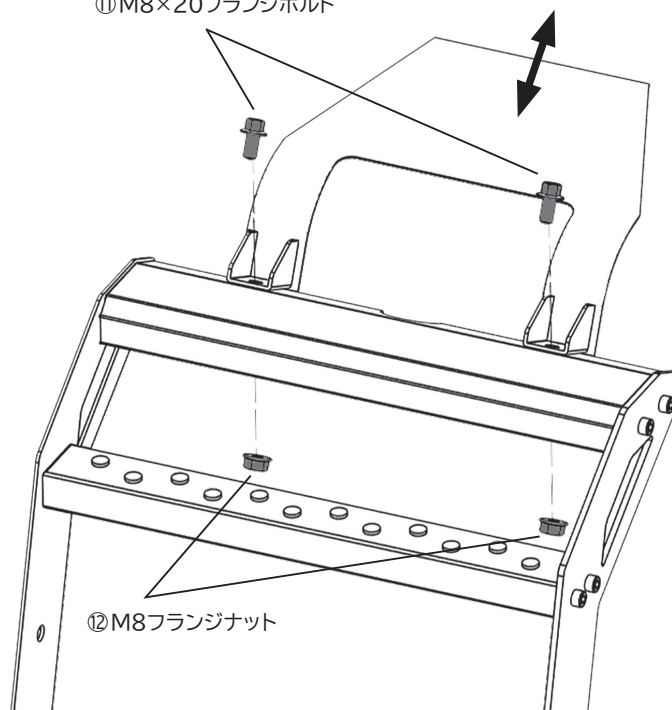
OM6フランジキャップボルト...5～7N・m  
OM8フランジボルト...12～15N・m

固定用ブラケットBは動くようにしておく



固定用ブラケットBは動くようにしておく

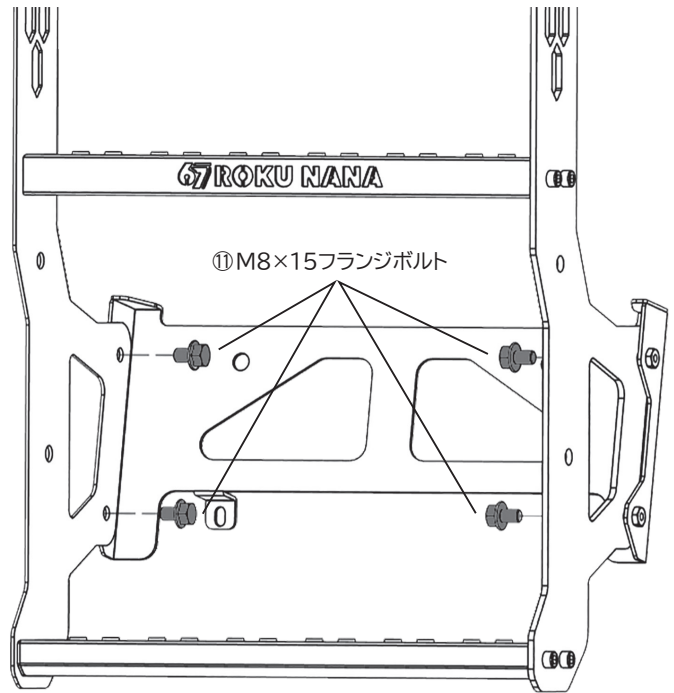
⑪M8×20フランジボルト



# 9

ラダー本体と車体に仮付けされている⑥固定用ブラケットAを付属の⑪M8×20フランジボルト、⑫M8フランジナットを使用して規定トルクで固定します。

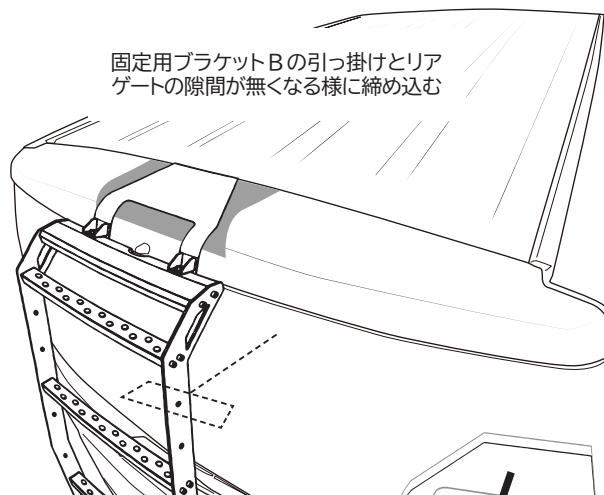
OM8フランジボルト...12～15N・m



# 10

ラダーの取付位置を上下・左右で調節して。位置が決まったら手順⑧で仮固定した部分以外の各ボルトナットを規定トルクにて本締めしてください。

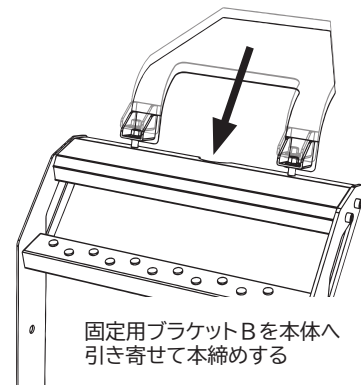
OM6フランジキャップボルト...5～7N・m  
OM8フランジボルト...12～15N・m



# 11

手順⑧で仮固定していた⑦固定用ブラケットBと⑧固定用ブラケットCを本締めします。

本締めをする際に、固定用ブラケットBをラダー本体へ引き寄せてゆき、右図の部分の隙間を無くして本締めをします。



# 12

最後にリアゲートを手動で開閉し、固定用ブラケットBと車体と干渉しないかの確認を行ってください。

# 13

必ず運輸支局でナンバープレートの再封印を行ってください。

## 装着状態の確認

- 全体の組付けが完了しましたら本製品を揺さぶり、異音がないことの確認を行って下さい。
- 各ボルトの締め付けトルクを、トルクレンチを使用して再確認を行ってください。
- 脱落の恐れがありますので、ボルトが緩んでいないか確認を行って下さい。
- 固定部品の定期的な増し締め作業やトルク管理をお願いします。

商品についてご不明な点がございましたら、お買い上げの販売店までお問い合わせください。